

地域医療支援病院の承認申請について

(一般財団法人 住友病院)

医療法第4条の規定に基づき地域医療支援病院の承認申請を予定する医療機関

※令和3年4月1日現在

1. 概 要

フリガナ	イッパンザイダンホウジン スミトモビョウイン
名称	一般財団法人 住友病院
所在地	大阪府大阪市北区中之島五丁目三番二十号
開設者	一般財団法人 住友病院 理事長 高橋 温
管理者	院長 金倉 譲
開設年月日	2000年9月1日
病床数	一般 499 床、
診療科目	◎内科、血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、人工透析内科、リウマチ科、◎循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、精神科、◎外科、乳腺外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、腎臓移植外科、形成外科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科、病理診断科、脳神経外科、救急科
救急	◎固定通年制
医療	○非通年制
体制	△輪番制

2. 沿 革

1921(大正10)年7月 大阪市此花区恩貴島北之町に「大阪住友病院」を開設 病床64床

- ・1945(昭和20)年6月 第二次世界大戦の戦災により病院施設(病床数315床)の過半を焼失
- ・1945(昭和20)年10月 大阪市西区土佐堀に移転(病床数94床)
- ・1947(昭和22)年8月 財団法人「新大阪病院」に改称
- ・1959(昭和34)年8月 財団法人「住友病院」に改称
- ・1960(昭和35)年2月 大阪市北区中之島五丁目二番二号に移転、本館を新築(病床数250床)
- ・1967(昭和42)年7月 新館を増築(許可病床数499床)
- ・2000(平成12)年9月 大阪市北区中之島五丁目三番二十号に新病院(病床数499床)を開院
- ・2012(平成24)年4月 「一般財団法人 住友病院」に改称
- ・2021(令和3)年7月 創立100周年を迎える

病院名(正式名称)	一般財団法人 住友病院
病院所在地	〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番20号
開設者	一般財団法人 住友病院 理事長 高橋 温
開設者所在地	〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番20号

「地域医療支援病院」承認要件一覧

承認要件		記入欄(記入例)		
許可病床数		一般 499床 合計499床		
施設設備	集中治療室	病床数	ICU・CCU 6床	
		主な設備	陰陽圧可変室 1床、陰圧室 1床	
	新生児集中治療室(NICU)	病床数	—	
		主な設備	—	
	化学検査室	主な設備	生化学自動分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、全自動血球計数器、全自動血液凝固線溶測定装置ほか	
	細菌検査室	主な設備	細菌同定・薬剤感受性測定装置、質量分析装置、全自動血液培養検査装置、全自動遺伝子解析装置ほか	
	病理検査室	主な設備	臓器写真撮影装置付き切り出し廃液ドラフト、自動パラフィン浸透装置、包埋センター、滑走式マイクローム、温浴槽、伸展台、自動染色装置、自動封入装置、凍結切片作製装置、自動免疫染色装置、液状化検体細胞診システム、自動細胞収集装置、顕微鏡、顕微鏡写真撮影装置、プレパラート保管庫	
	病理解剖室	主な設備	解剖台、臓器写真撮影装置、遺体保管用冷蔵庫、遺体運搬車、オートクレーブ、解剖用吸引装置、電動解剖ノコギリ、局所排気装置付きホルマリン作業台	
	研究室	主な設備	電子カルテ使用可能なパソコン	
	講義室	室数 (室)	2	(室)
		収容定員 (人)	190	(人)
	図書室	室数 (室)	1	(室)
		蔵書数 等	3,500冊程度	
	救急用自動車	保有台数 (台)	1	(台)
主な設備		ストレッチャー、酸素吸入器、アンビュー ほか		
医薬品情報管理室	専用・共用	専用室		
	床面積 (㎡)	16.54	(㎡)	
紹介率・逆紹介率		紹介率 50% ・ 逆紹介率 70%		
紹介率		昨年度実績	今年度実績(4月～8月参考値)	
紹介率 (①/⑥) × 100 (%)		56.9% (%)	57.6 (%)	
逆紹介率 (⑦/⑥) × 100 (%)		79.7% (%)	85.0 (%)	
上記の算出根拠	初診患者数	紹介患者数 ①	5,582 (人)	2,443 (人)
		初診患者総数 ②	11,933 (人)	5,520 (人)
		②のうち、救急搬入患者数 ③	1,305 (人)	692 (人)
		②のうち、休日・夜間の患者数 ④	824 (人)	589 (人)
		②のうち、健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者数 ⑤	0 (人)	0 (人)
		差し引き ②-③-④-⑤ ⑥	9,804 (人)	4,239 (人)
	逆紹介患者数 ⑦	7,819 (人)	3,605 (人)	
共同利用の実績	前年度共同利用を行った医療機関延べ数	692	(件)	
	うち直接関係のない医療機関延べ数	692	(件)	
	共同利用に係る病床の利用率	18.2	(%)	
	開放型病院共同診療管理料	3件	(件)	
共同利用の範囲	建物の全部・一部	一部		
	開放型病床数	5	(床)	
規定の有無	有			
開設者と直接関係のない登録医療機関数		263	(件)	
救急医療を提供する能力	医療従事者(常時最低確保数)	医師	常勤専従=0名、常勤非専従=7名、その他30名	
		看護師	常勤専従=2名、常勤非専従=6名	
		診療放射線技師	常勤非専従=1名、その他=1名	
		臨床検査技師	常勤非専従=1名、	
		薬剤師	常勤専従=0名、常勤非専従=1名	
		臨床工学技士	常勤専従=0名、常勤非専従=2名	
病床の確保状況	優先病床数	8	(床)	
	専用病床数	2	(床)	
救急用診療施設・設備		救急センター、第2X線撮影室、第2CT室、第1血管造影室、第2血管造影室		
地域の医療従事者に対する研修機能	前年度の研修者数	321名	(人)	
	研修プログラムの有無	有		
	研修委員会の有無	有		
	研修指導者数	65	(人)	
研修実施のための施設・設備		講堂・別館2階教室		
診療に関する諸記録及び管理・運営に係る諸記録の管理方法	診療に関する諸記録	病歴管理室		
	共同利用の実績	地域医療連携室		
	救急医療の提供の実績	医事室		
	地域の医療従事者のための研修の実績	地域医療連携室		
	諸記録の閲覧の実績	総務室		
患者紹介の実績		地域医療連携室		
患者相談体制の整備		有(NS=5名、MSW=3名、事務=1名の体制)		
地域医療支援病院運営委員会		規程有(2020年度は発足前)		
居宅等医療提供施設等への支援		在宅療養後方支援病院として在宅療養支援診療所が登録した患者関し、診療所の後方支援を行う旨、運営要領を定めるとともに、関係者向け通知。		
備考				

2. 病院の特徴

①当院の基本理念・運営方針

【理念】

[信頼性の高い医療で社会に貢献]

□運営方針

- ・ 高水準、良質の医療（高い評価の臨床研修病院）
- ・ 患者様の QOL（Quality Of Life：生活の質）を重視した診療
- ・ 快適環境
- ・ 豊かな国際性

□患者権利

住友病院は以下に掲げる患者様の権利を尊重いたします。

- ・ 個人の尊厳が尊重される権利
- ・ 最善の医療を受ける権利
- ・ 十分な説明のもとに医療を受ける権利
- ・ 医療行為に関し、自らの意思で選択する権利
- ・ 自分の受けている医療について知る権利
- ・ プライバシーが保護される権利

②当院の特色

□診療科間の密接な連携に立脚した「患者さんのための医療」提供

- ・一般内科が基盤となり、
各専門診療科へ連携を図る体制

□地域医療機関様からのニーズが

高い外科診療の拡充

□「断らない医療」の徹底に資する機能充実

- ・2018年救急フロア拡張、2021年ICU/CCU増強など

□高齢化社会進展とともに重要性高まる高齢者医療分野での充実した体制

- ・がん診療：手術・化学療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療や緩和ケアの提供
- ・骨・関節疾患エリア：高齢者骨折に関し多職種によるチーム医療での提供
- ・脳・心血管病変に対する専門診療科における高いレベルでの医療技術提供
- ・末梢動脈疾患診療：チーム医療による診療提供
- ・がん早期発見・生活習慣病チェックに重点を置く健診システム・人間ドックの提供

□設立に由来する企業基盤との各種連携経験を生かした地域医療機関様向け活動の実践

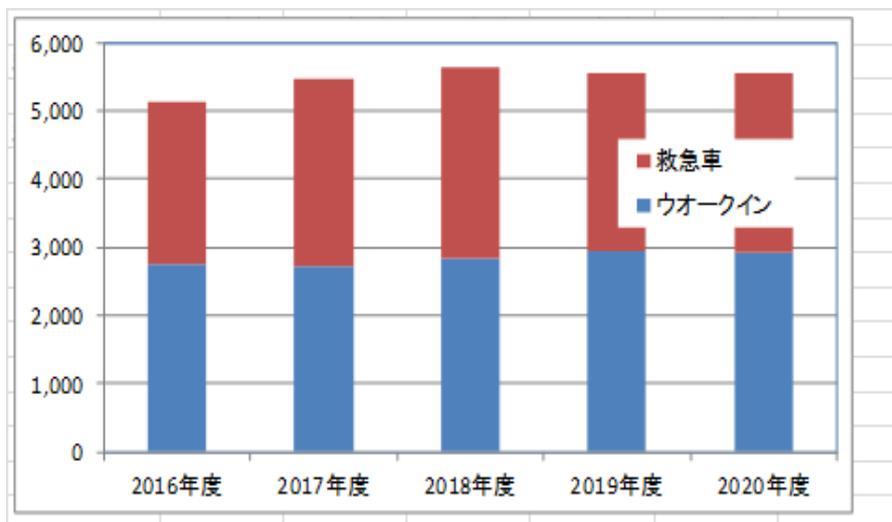
□未来の医療職養成への貢献



③地域支援病院に資する取組み・特徴等

ア. 救急受入体制の強化

・当院では、近隣諸医療機関からの紹介、救急隊からの搬送依頼の受入れを全診療科の協力のもと行い、「断らない医療」の実践に努めています。



・平日時間内は各診療科または

救急センターで診療を実施。平日時間外および休日は救急センターにて対応します。救急当直医・当直看護師が協力し診察、治療に当たり、必要に応じ内科、外科、循環器の各当直医がバックアップします。

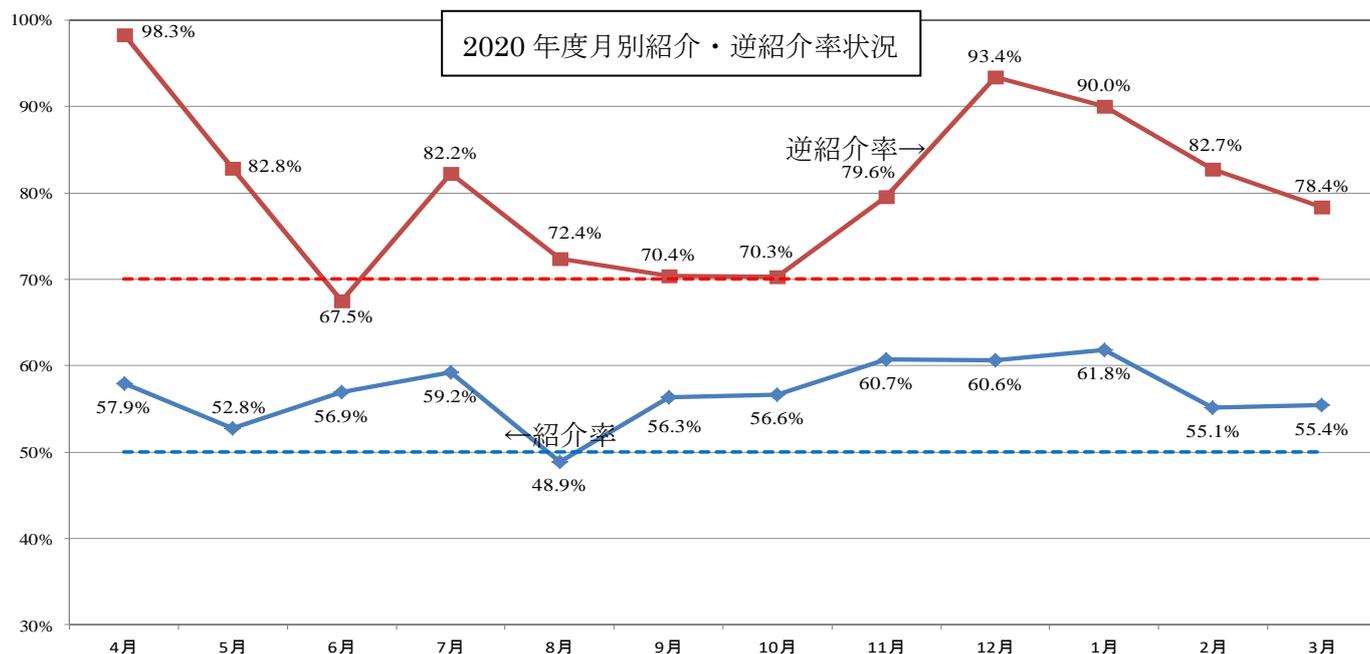
・救急センターは、救命処置や小手術も可能な初療室、3名収容可能な救急診療室、および診察室を2室備えています。また、同フロア内のCT、MRI、超音波、内視鏡、血管造影室など各種の診断、治療機器を用いた診療も可能です。

・入院に際しては、ICU、CCUの他に、救急専用ベッドも確保。専門医の診療が必要な場合、各診療科のオンコール体制により、夜間、休日でも緊急手術、緊急血管造影、血液浄化法等の治療を速やかに行える体制としております。

イ. 紹介率、逆紹介率の状況

地域の診療所からの紹介患者様への対応を主軸に、地域医療への貢献を果たしてまいり

ます。同時に、当院で治療が進んだ患者様の回復に併せて、逆紹介を通じ、地域のクリニックと途切れなく連携してまいります。



ウ. ICU・CCUの増強

- ・急性期病院としてより多くの重症度の高い患者様への対応の必要性に加え、新型コロナ蔓延における患者様対応時の経験も踏まえ、築20年を経過したICU施設を2021年度増強しました(2022.1.11.稼働開始予定)。

<完成イメージ>



エ. 地域医療従事者向け研修等開催

- ・コロナ禍の中、集合研修等の開催に制約がありますが、地域医療従事者向けに少しでも貢献できるように、オンライン開催等を駆使した研修に取り組んでまいります。(右図:2021/10月実施の

Web開催
第38回中之島地域医療セミナー

開催：2021年10月14日(木) 18時～19時
対象：医師、医療従事者

座長 内科系副院長・患者支援連携センター長
阪口 勝彦

**微小癌を含めた甲状腺結節の取り扱いと
機能温存を最優先とした甲状腺手術について**
住友病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療部長
笹井 久徳

※大阪府医師会生涯教育(取得予定) カリキュラムコード：41

【参加申込み方法】
「お名前」「施設名」を記入の上、
E-Mailにて10月8日までに申込み下さい。
s-renkei@sumitomo-hp.or.jp



お申し込み後、事前参加登録のURLを、メールにてご連絡させていただきます。必要事項のご登録をお願いします。
ZOOMウェビナーにて開催となります。

※大阪府のコロナ感染状況が落ち着いてきましたら、Webに加えて、リアルでも行う予定です。

一般財団法人
住友病院
SUMITOMO HOSPITAL

地域医療連携室
〒530-0005大阪府北区中之島5丁目3番20号
TEL：06-6447-3031(地域直通)

セミナー)

・また、地域のニーズに合わせたテーマで薬剤師や検査技師による研修も行っております。

オ. 新型コロナウイルス罹患者向け対応

・重点医療機関として新型コロナ感染症への対応を行っています。

今後ともよろしくお願いいたします